

遺伝的体質からがんリスクを予測 サインポスト「がん遺伝子検査」

<サインポスト「がん遺伝子検査」とは？>

- ◆ 「がんを起こしやすくする関連遺伝子」を解析し、ハイリスクのがんを明らかにするとともに、がんのリスクを下げる「生活習慣」を提案
- 男性:12項目、女性:14項目のがんリスクを判定
- 100種類以上の遺伝子を解析
- 各部位のがんに関連する測定遺伝子解析結果に基づくアドバイス付報告書

個々人の遺伝的リスクに基づく
ライフスタイル・生活習慣を提案

がんの早期発見・予防へ。
「オーダーメイド医療」の実現へ



*1 女性のみ測定 *2 男性のみ測定

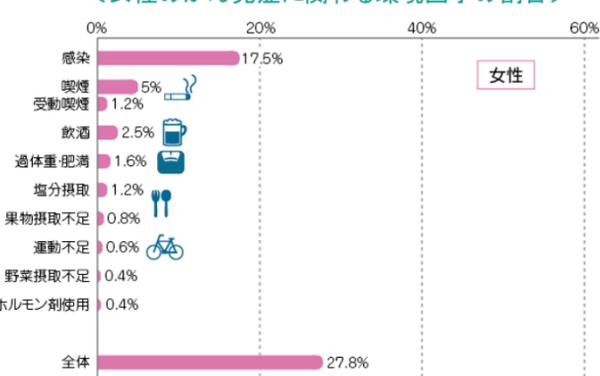
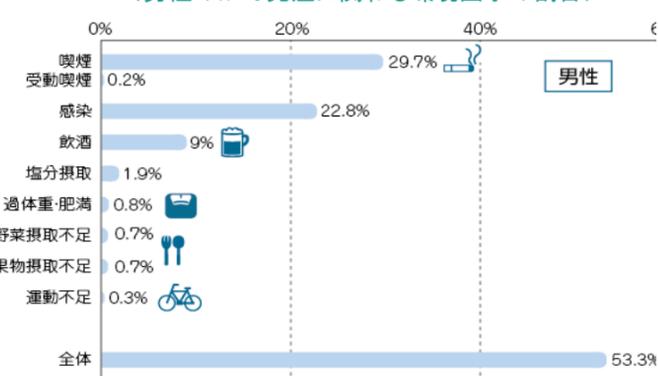
<サインポスト「がん遺伝子検査」のメリット>

体の種々の臓器のがんは、がんになりやすい体質（遺伝子リスク）の人が、なりやすい生活習慣（環境因子）を継続することにより、がん細胞が時間をかけて増殖していき、発病に至るとされています。男性のがんの約53.3%、女性のがんの約27.8%が、生活習慣や感染が原因でがんになったと考えられており、生活習慣を改善することで発がんリスクを下げるという推計も示されています。

サインポスト「がん遺伝子検査」は、「どんながんになりやすい遺伝子を保有しているのか」、「がんの発症予防には、どのようなライフスタイル・食生活が適しているのか」を知ることが出来る遺伝子検査です。

<男性のがん発症に関わる環境因子の割合>

<女性のがん発症に関わる環境因子の割合>



Inoue, M. et al.: Ann Oncol, 2012; 23(5): 1362-9 より作成

サインポスト「がん遺伝子検査」で保有する『がん遺伝子』を認識し、『生活習慣（環境因子）』を意識した生活を送ることががんの発症予防につながります。

<報告レポートのその見方>

報告書形式にて12分野の遺伝的リスクの解析結果、ならびに疾病予防のための個々人の遺伝的リスクに基づいたライフスタイル・生活習慣を提案致します。

- 男性用報告書 https://www.premedica.co.jp/wp-content/uploads/2019/04/SignpostCancer_men.pdf
- 女性用報告書 https://www.premedica.co.jp/wp-content/uploads/2019/04/SignpostCancer_women.pdf

遺伝子から見たあなたのリスク（注意レベル）は
要注意レベル

あなたの肺がんのリスクは高めです
あなたは肺がんになりやすい遺伝子を多く保有しています。

- 注意すべき人
肺がんの一番の原因は喫煙です。PM2.5も肺がんのリスクを高めます。煙草を吸ったことのない女性でも初産から閉経までの期間が長い方や、ホルモン剤で治療された方は、肺がんのリスクが高まります。
- 生活指導
喫煙されている方は、一刻も早い禁煙が必要です。空気中のPM2.5濃度が高いときはマスクを厳重にし、肺に吸引する量を減らすように努めてください。
- 検査
定期的な胸部X線検査を受けるようにしましょう。特にリスクの高いあなたには胸部のヘリカルCT検査がおすすめです。

注意すべき 生活習慣

注意すべき 感染 / 疾患

喫煙 PM2.5 ストレス 女性ホルモン

測定遺伝子（肺がんに関連する遺伝子）

★ 遺伝子に対応したアドバイスを表示

遺伝子の表示色について ●: 保有 ●: 未保有 ●: 解析不可

がん増殖 ROS1	免疫 ★ HLA-DQB1	がん感受性 VT11A
がん細胞死 CLPTM1L(1) TERT(1)	喫煙者関連 ★ CHRNA3	がん転移 ★ XXYL1(1) ★ XXYL1(2) ★ XXYL1(3)
	非喫煙者関連 ★ HYKK	

説明

●患者数
2018年の肺がんの患者予測数は男性では部位別3位の8万4500人、女性では部位別4位の4万600人になります。

●症状
肺がんは早期は症状がない場合が多いです。通常は病状の進行につれて症状が現れるのですが、症状がほとんど出ないこともあります。肺がんの症状としては、治りにくい咳、血痰、胸の痛み、息切れ、呼吸困難などが挙げられます。これらは肺がん特有の症状ではないため、疑わしい場合は検診を受けましょう。

アドバイス

タバコは肺がんリスクをさらに高めます

あなたはタバコの悪影響を受けて、肺がんリスクがさらに高まりやすい「CHRNA3遺伝子」を保有しています。タバコを吸っている人は直ちに禁煙が必要です。また、過去に禁煙していた方も定期的な検診を受けてください。

CHRNA3

コラム // 肺がんとPM2.5

大気汚染物質には、発がん性や変異原性を示す種々の複雑な化合物が存在します。なかでも、ディーゼル排気ガスの黒煙などに含まれる粒径2.5μm以下の微小浮遊粒子（PM2.5）は、粒子の大きさが髪の毛の太さの30分の1と非常に小さいため、肺の奥深くまで入りやすく、強い発がん性を示します。

1.各疾患の総合評価
各疾患の遺伝的リスクを各遺伝子ごとに評価し、その積算和と標準値から3段階（平均、注意、要注意）で評価しています。

2.疾患に関連する、注意が必要な人、生活指導、検査を記載しています。

3.各疾患ごとに注意すべき生活習慣・感染/疾患を表示
(注意すべき生活習慣、感染/疾患がないときは、「注意すべき生活習慣、感染/疾患はありません」と表示)

4.各疾患に関連する測定遺伝子を項目ごとに記載
項目名: 喫煙、アルコール、炎症関連、遺伝子修復、がん転移、がん増殖、がん細胞死、免疫、B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、酸化ストレス、がん感受性 など
がん感受性: には、上記項目名に含まれない項目や、発がんとの関連性がいまだ不明の遺伝子も含まれる。
<遺伝子の表示色について>
●: 保有 がんに関連する遺伝子を保有している
●: 未保有 がんに関連する遺伝子を保有しない
●: 解析不可 今回の検査では解析できなかった遺伝子
★ 遺伝子に対応したアドバイスを表示

5.各疾患の患者数、症状などを記載

6.各疾患に関連する測定遺伝子解析結果に基づくアドバイスを記載

7.各疾患に関連する診療上のヒントなどを記載